

第14回NIKS経営賞2次審査結果

協同組合新潟県異業種交流センター
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町2-5-8
TEL0258-36-9003 FAX0258-34-0195

賞	NO	組合員名	代表者	連絡先住所	表彰事業の名称	内容
大賞	1	コデラカプロン(株)	古寺 保治	〒955-0051 三条市鶴田1-6-9	殺菌効果・消臭効果の銅布生地 の感染症予防対策商品開発	銅の力で殺菌用・銅布生地 の用途開発 院内感染防 止・感染症予防対策により 安心・安全な労働環境の 提供
優秀賞	2	(株)内山肉店	内山治彦	〒949-6621 南魚沼市美佐島89-66	にいがた和牛を活用した寿司業 界向けの新しい商品開発	高級寿司店・割烹店をター ゲットとして、にいがた和 牛の塩漬け熟成肉、塩漬け ユッケ、生ハム等の開発 を行い、新しい寿司ネタと しての提案を行う。これま で取り組みがなかった寿司 業界への販路開拓を行い、 売上利益の拡大を図る
敢闘賞	3	(株)ソルメディエージ	丸山健太	〒950-0905 新潟市中央区天神尾1-2-27	プロジェクトマッピングの新 潟市における活用について 「みなと新潟 春フェスタ 2015～光の響演～」	・今までに無い高い集客 効果(市発表3万人) ・2015年9月開催の プロジェクトマッピング 国際コンベンションの 誘致に成功。 ・若者の新潟に対する 意識向上。 ・全国的にも新潟市は 定着したイベントになっ ている。 ・我が街の魅力再発見
努力賞	4	(資)山本味噌醸造場	山本信次	〒942-0001 上越市中央1-13-4	北陸新幹線開業に向けて 発酵食品を使った新商品 開発 廃棄していた「味 噌たまり」を活用した マルチソース「Tamalive (タマリーブ)」の商品 開発	調味料としての味噌の 消費が減少傾向にある 中、2012年に3年後、 北陸新幹線開業に向け て発酵食品を使った他 には無い新たな新商品 開発の中、味噌の副 産物として廃棄してい た「味噌たまり」に注 目。それとオリーブ油 を配合した世界初！？ のマルチソースとい う新ジャンルに挑戦 した。
努力賞	5	(株)エフピーエム	小林幹扶	〒955-0083 三条市荒町2丁目26番地7	地域版401K(確定拠出年金) 『FPとつくる燕三条年金積立 プラン』	確定拠出年金(401K)は「 中小企業の従業員の確 保・定着」および「従業 員の老後資産の形成・ 導入 法人の経費節減」 に有効なのは理解して いるが、会社の規模が 小さくて導入には及ば ない。そんな実情を打 破するための方策を模 索しました。 当社が代表事業主とし て厚生労働省に登録 (2015年1月申請・登 録)することで、中小 規模の企業であっても 低コスト・簡便に確 定拠出年金(401K)を 導入できるスキーム を構築しました。

第14回NIKS経営賞2次審査結果

協同組合新潟県異業種交流センター
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町2-5-8
TEL0258-36-9003 FAX0258-34-0195

賞	NO	組合員名	代表者	連絡先住所	表彰事業の名称	内容
奨励賞	6	いちごカンパニー(株)	松田祐樹	〒959-2826胎内市鼓岡818番地1	廃校を活用した閉鎖型植物工場によるイチゴの通年栽培	東日本大震災を起因とする耐震補強関係で、近隣の小学校3校が合併することとなるが、廃校となった小学校の活用に悩み、また、猿害により、稲作以外の農作物の栽培が不可能であること、地域住民により地域のランドマークである小学校を存続させたいとの要望から、閉鎖型植物工場によるイチゴの通年栽培に取り組んだ。
	7	(株)WV	覺張雄介	NPO法人アースロア 949-6103 南魚沼市湯沢町土樽178-2-229	農を自分事に捉えてもらい、消費者と生産者が一緒になって問題解決する	2010年3月、Uターンをきっかけに、アパレルから米穀販売に転身。想像以上に農家の現状が厳しく、農業は岐路に立っていると感じた。(日本一価格の高い魚沼の米農家がこれだけ苦しんでいるのであれば、全国の米農家は同様以上の問題を抱えているのでは？と感じた) 異業種から参入した自身ならではの視点で、若者を巻き込み、現状から一歩進める事業展開ができるのではないかと感じ、農家の価値向上を目指しRICE475プロジェクトを企画
	8	玉川酒造(株)	風間勇人	〒946-0216魚沼市須原1643	魚沼のお米の価値を守る！米・水・人を越後魚沼産にこだわった酒造り	魚沼市では全国一のブランド米魚沼産コシヒカリが多く栽培されています。しかしながら近年では魚沼産のコシヒカリの価格の値下がりが続いており、地元魚沼の農家さんには厳しい状況が続いています。(農協買取価格は10年前1俵3万円近かった価格が26年産は2万3千円になっています) そこで地元農家と酒米栽培の契約をして魚沼産の米の価格を守り、酒蔵としても地元のお米を使用しているという付加価値のある商品作りをしようと考えました。今年限定酒という形で2種類の魚沼産のお米を使ったお酒造りに挑戦をします。
	9	(有)貫木産業	今井 満	〒946-0111魚沼市並柳2番地	木材の欠点を補うWPC(Wood Plastic Combination)開発と製品展開(~魚沼から世界へそして宇宙へ)	木材に樹脂を浸透させてつくるWPC(木材プラスチック複合材)の処理技術を開発し、世界的に見ても小ロットでWPC製造を行っている企業は少なく、独自のノウハウを活かしたWPC製品は様々な分野へ利用され、世界的規模での商品開発が行われている。

第14回NIKS経営賞2次審査結果

協同組合新潟県異業種交流センター
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町2-5-8
TEL0258-36-9003 FAX0258-34-0195

賞	NO	組合員名	代表者	連絡先住所	表彰事業の名称	内容
奨励賞	10	ウォーターセル株式会社	長井啓友	〒950-0911 新潟市中央区笹口2丁目13-1 笹口I・Hビル 1階 及び 2階	農家の声から生まれた農業支援システム「アグリノート」	現在、農業分野では、以下の課題を抱えている。 (1) 農家数の減少 (2) 農業者の高齢化 (3) 農地の大規模化 (4) 離散圃場(飛び地の問題) これらの課題を解決するために、農作業をデジタル化・情報化することで農業現場の見える化を図り、情報共有・ノウハウの伝承を促進する。
	11	(株)イシザカアイ・エフ・シー 石坂きのこ組合	石坂猛	〒949-6545 南魚沼市長崎3433-1	品質を追求したマイタケ栽培と直販のさきがけ	「石坂のマイタケを食べたら他のマイタケは食べれない」南魚沼の地元で品質を追求し、天然に一番近いと言われる栽培マイタケを生産している石坂きのこ組合は、他のきのこ生産会社が生産量の安定化や販売戦略に力を入れる中、品質のみを追求し、昭和59年に特許を取得、同年新潟県技術賞受賞、昭和60年日本林業技術賞受賞、昭和61年日本農業賞受賞、そして平成12年には物産関係で国内で最初の緑白授有効賞を受賞するなどの評価をいただき、自社のマイタケのファンを拡大する手法で売価を下げずに独自の販路を開拓し、売価が「安値安定」の市場卸には出荷せず年間40トンの生産量と4000万円の売り上げを行っている。
	12	株式会社 丸山組	丸山光博	〒959-1251 燕市白山町3-32-40	公共工事削減に対応する売上確保のための 収益の柱構築	建設業特有のシステムが崩壊し、利益確保が困難になってきた2005年頃の受注形態は燕市の公共工事と、地元(特に燕市内)の法人からがほとんどでした。が、公共事業は削減、法人受注は不安定で会社の利益を確保しつつ、受注増を目指すには新たな収益の柱(別分野)が必要と考えた事とこの先更に人材確保が困難になるであろう建設業界において、会社そのものの魅力も持たないといけないと考え新規分野に取り組みました。2008年地盤改良事業、2010年住宅事業、2012年戸建賃貸事業、2013年リフォーム事業。

第14回NIKS経営賞2次審査結果

協同組合新潟県異業種交流センター
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町2-5-8
TEL0258-36-9003 FAX0258-34-0195

賞	NO	組合員名	代表者	連絡先住所	表彰事業の名称	内容
奨励賞	13	winpal(株)	川崎雄介	〒955-0081 三条市下須頃18-1 MK2F	ネットワークIPカメラによる、設備機械の24時間監視	当社では創業当時から、顧客の「困った」を解決するべく、仕組みづくりの提案、システム構築を行ってまいりました。燕三条地区は、製造業が特に多い地区であり、設備機械は時間を問わず稼働しており、また、常に設備機械を人為的に監視していたら作業効率も悪い。そこで生産性の向上を目的に、いつでもどこからでも監視ができる仕組みを構築しました。
	14	中村精工(株)	中村雅幸	〒955-0035 三条市中新32-26	個人向け製品用のブランド展開	工作機械や特殊車両に付随する工具を収納するケースを製作するメーカーとして業界内ではそれなりの知名度を有するようになって来ましたが、個人向けには全くといって良いほど知られておりません。今後、更なる企業展開を図る上において個人向け製品のマーケットを拡大することが必須と考え、親しみやすいブランドを立ち上げて製品と共に発信をしていく事としました。